

第1回検修合理化 対策委員会ひらかる

「60.3合理化」 粉碎にむけて、 対策委の体制を確立

六月二十九日、
十時より第一回
検修合理化対策
委員会を開催し
ました。
委員会は、水
野副委員長から
国鉄をめぐる情勢について詳細な報告をうけた
後、山口副委員長から今次検修合理化の主な内容
について報告をうけました。
つづいて対策委員会の構成について討議し、次
のとおり決定しました。



さらに、対策委員会の当面の取り組みについて
次のとおり決定しました。
① 運輸省令との関係
② 現行と改革案との比較検討
③ 運転保安との関係から、今日までの車両事故
件数及び内容についての調査
以上の調査検討にふまえ、七月中旬を目途に解
明要求を盛りこんで申し入れ書を作成し当局につ
きつける。

- | | |
|--------|-------------|
| 対策委員長 | 山口副委員長 |
| 対策副委員長 | 齊藤検修分科会会長 |
| 事務局次長 | 水野副委員長 |
| 事務局次長 | 森内特別執行委員 |
| 委員 | 高田検・修分科副会長 |
| 委員 | 林特別執行委員 |
| 委員 | 加瀬検修分科副会長 |
| 委員 | 川崎検修分科執行委員 |
| 委員 | 山田 |
| 委員 | 篠塚(寧)(幕張支部) |
| 委員 | 田中龍美(佐倉支部) |
| 委員 | 関特別執行委員 |
| 委員 | 中村特別執行委員 |

国鉄千葉動力車労働組合

1984年6月28日

執行委員長 中野 洋 殿

国鉄千葉動力車労働組合 会計監査員 庄 司 功

会計監査員 小 幡 重 三

会計監査員 室 岡 孝 志

会 計 監 査 報 告 書

1983年度第4一四半期会計監査は、規約第47条の定めるところにより
会計監査を実施した結果、金銭、帳簿に不正に基づく事実のないことを確認し、
下記の通り報告します。

記

1. 監査期日 1984年6月27日、28日
2. 監査場所 国鉄千葉動力車労働組合本部事務所
3. 監査項目 (1) 予算執行の適否 (2) 経費支出内容の適否 (3) 物品購入価格及び方法の適否 (4) 消耗品使用の適否 (5) 財産及び備品管理の適否 (6) 現金及び預金の確認 (7) その他必要と認める事項
4. 確認事項 1984年6月27日現在の預金、現金、証券類の確認
5. 意 見

- (1) 組合費の納入状況については、良好であった。
- (2) 各種臨徴の納入状況については、良好であった。
- (3) 動労千葉共済掛金納入状況については、良好であった。
- (4) 動労千葉共済給付状況については、良好であった。
- (5) 組合基金の納入と保管状況については、良好であった。
- (6) 闘争資金の収支決算については、異状を認めなかった。
- (7) 第2闘争資金の収支決算については、異状を認めなかった。
- (8) その他特別会計についても、異状を認めなかった。
- (9) 現金及び預金、有価証券と関係帳表との照合については、異状を認めなかった。
- (10) 貸借対照表、収支計算書、財産目録、その他関係諸表については、異状を認めなかった。
- (11) 帳簿類及び領収書等の整理状況は、印モレ等もなく、よく整理されていました。
- (12) 予算執行状況について

- ① 収入の部では、当初予算に対し、101.2%と良好である。
- ② 支出の部では、予算対比87.5%であり、おむね良好である。

- (13) 備品管理については、おむね良好である。

総 括 意 見 1983年度第4一四半期会計監査は、規約第47条の定めるところ
により、会計監査を実施した結果、不正にもとづく事実のなかったことを証明します。

59・2マイ改、動乗動闘争など、きびしい闘いの中で健全な財政運営を維持できたことに
対し、関係従業員の努力に敬意を表します。今後、60・3、検修合理化、「過員」攻撃など、
ますますきびしい闘いが想定されますが、健康管理に留意し、一層健全な財政運営に努力され
る事を期待します。 以 上



84. 7. 5

No. 1682

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二五三五(六・公衆)〇四七二(22)七二〇七